

◆活動団体

団体名：豊田ほたる街道の会

連絡先：083-767-0241（道の駅「蛍街道西ノ市」内）

◆活動内容

・第5回梨の花ウォーク in とよた（4月）

道の駅「蛍街道西ノ市」をスタートし、途中で観光梨園をコースに取り込んだコースで、約180名の方が参加しました。地元団体の檜原ゆうあい会によって復活・整備された歴史街道の「肥中街道」がウォーキングのコースに取り入れられ、春の恒例イベントとして定着しています。



・木屋川河川敷のホタル観賞遊歩道を整備（5月）

ホタル観賞用遊歩道として整備するため、地域の各団体により整備された河川敷を活用し、地元商工会青年部により遊歩道が整備されました。環境美化の活動を観光集客の手段として結び付けることができ、6月には道の駅「蛍街道西ノ市」前の遊歩道で多くの方に川面に近い目線でホタルの光を楽しんでいただきました。



・西市小学校でホタル授業を行いました。（5月）

子どもたちに蛍のいる自然を守る大切さを学んでもらうため、西市小学校5、6年生を対象に商工会青年部による「ホタル授業」が行われました。地域の魅力を守り、それを地域振興に活かすことについて、クイズを交えながら授業を進めました。



・「長門鉄道開通94周年記念イベント」を行いました。(10月)

かつて豊田町を走ったSL「長門鉄道」を改めて地元の人に知ってもらうためのイベントが豊田町観光協会主催により道の駅「蛸街道西ノ市」を会場に開催しました。長門鉄道の歴史に関する講演、当時の写真展示、駅弁の販売などのほか、豊田ほたる街道の会の清廣会長による手作り紙芝居「長門鉄道物語 長門の鉄ちゃんポップー」が披露され、多くのお客様に喜ばれました。



・浮石義民第303回法要が行われました(12月)

浮石の舜青寺にて、江戸時代に過酷な年貢の取り立てから村を守るために自らの命を犠牲にして直訴をした5人の義民を偲ぶ第303回忌の法要が行われました。地元の小学生も招待され、法要後には当時の歴史について参拝者とともに学びました。



・ホタルが見える河川敷整備のため、木屋川河川敷の整美に取り組みました。(2月)

6月にはホタル観賞遊歩道となった河川敷は、半年経つと再び雑草に覆われます。次年度のホタルシーズンを迎えるため、自治会をはじめ地域の団体の方々とともに雑草狩りやゴミ拾いを行いました。河川敷の中らかつて「西ノ市旧跡」に用いられていたと思われる石も発掘され、今後の街道をめぐる歴史的財産として活用される予定です。

